

事例名			
世界史探究での風刺画の創作			
校種・学年	高等学校・3年		
教科・科目・単元・題材	地理歴史科・世界史探究・第一次世界大戦と世界の変容		
学校名〈任意〉	京都府立西城陽高等学校	事例報告者氏名〈任意〉	一原 祐輔
機能名（アプリ名）	画像生成機能（Copilot）、共有機能（PowerPoint）		
ICT 活用のポイント			
Copilot を活用して歴史的テーマを題材にした風刺画の創作に取り組んだ。生徒は歴史的背景の理解を深めながら、現代的な視点で問題意識を表現する活動を行った。			
活用場面			
<p>1. 歴史的背景の調査に Copilot を活用</p> <p>生徒は扱うテーマ（帝国主義、冷戦、産業革命など）について、Copilot の検索・要約機能を使って必要な情報を効率的に収集した。複雑な史実も簡潔に整理されるため、創作の焦点をつかみやすくなった。</p> <p>2. 風刺の切り口を考える際のアイデア支援</p> <p>「どこを誇張すれば風刺として成立するか」「どの象徴を使えば歴史的意味が伝わるか」といった発想の補助として、Copilot に複数の視点や表現例を提示させ、生徒は自分の考えを深めながら構図等を考えた。</p> <p>3. 授業支援アプリでの即時共有と相互フィードバック</p> <p>作成した下書きや完成案は PowerPoint を通してクラス全体に共有。生徒同士がコメントを送り合い、表現の意図や改善点を短時間で確認できた。これにより、作品の質が大きく向上した。</p> <p>（左：生徒作の風刺画）（右：制作時の様子）</p>			
 <p>ビクトリア女王は実際はそこまで綺麗ではないのに肖像画で自分を美化することで国民の支持率を集めようとしたのではないかと。</p>			
授業者のコメント・児童生徒の主な反応等			
<p>世界史の出来事を題材に風刺画を描くという活動に対して、生徒たちは当初「どう表現すればよいのか分からない」という戸惑いがあった。しかし、Copilot を使って歴史的背景を整理したり、象徴表現の例を調べたりすることで、徐々に自分の視点を持って表現できるようになっていった。ICT のサポートが入ることで、風刺の切り口を考える負担が軽減され、創作に向かう姿勢が明らかに前向きになったと感じている。</p> <p>また、作品をデジタルで仕上げることで、表現の幅が大きく広がった。さらに、授業支援アプリを通して互いの作品を共有することで、創作活動がより活発になった。他の生徒の視点に触れることで刺激を受け、自分の表現を見直す姿も多く見られた。作品を見せ合う楽しさが、結果として表現力の向上につながっていると感じた。</p>			